

H R			
	番号		
		氏名	

33 テーマ別漢文常識語

名教に関する語

一人	いちにん (いちじん)	天子。(自称にも尊称にも用いる) 「君 <sup>クニ</sup> 天下 <sup>ト</sup> 曰 <sup>ト</sup> 天子 <sup>ト</sup> …… 任 <sup>スル</sup> 功 <sup>ヲ</sup> 曰 <sup>ク</sup> 予 <sup>ハ</sup> 一人 <sup>ニ</sup> 。(礼記) *任功 <sup>ニ</sup> 天子 <sup>ハ</sup> 諸侯 <sup>ニ</sup> 功 <sup>ヲ</sup> を委 <sup>ス</sup> 任 <sup>ス</sup> する。
二氣	にき	万物を作り出す陰と陽の二つの気。
二柄	にへい	君主が持つべき二つの権力。刑(刑罰権)と徳(恩賞権)。
三軍	さんぐん	諸侯の軍隊。大軍。一軍は一万二千五百人。困六軍は天子の軍隊。
三綱	さんかう	君臣・父子・夫婦の道。
三春	さんしゆん	陰曆一月・二月・三月の春三か月。
三代	さんだい	夏・殷・周の三つの王朝。

五經	ごぎやう	儒家の重んじた五つの経典。詩・経・書・易・春秋・礼記。
五行	ごぎやう	万物の根源となる五つの元素。 木・火・土・金・水のこと。
五節句	ごせつく	白(一見七日・上巳(三月三日)・端午(五月五日)・七夕(七月七日)・重陽(九月九日)。
五霸	ごは	春秋時代の五人の覇者(諸侯の旗頭)。齊の桓公・晋の文公・楚の荘王・宋の襄公・秦の穆公のこと。 (後の二者については異説がある)
五倫	ごりん	人の守るべき五つの道。君臣の義・父子の親・夫婦の別・長幼の序(順序)・朋友の信。
六芸	りくげい	士の学ぶべき六つの学芸。礼・楽・射・御(馬車を御す術)・書・数。
六親	りくしん	父・母・兄・弟・妻・子。転じて、すべての身内。

三王	さんわう (さんなう)	中国古代の三人の聖王。夏の禹王・殷の湯王・周の武王(文王)。 ④「さんなう」の読みは、「ン」の音に引かれた「運声」。
四夷	しい	四方の異民族。東夷・西戎・南蛮・北狄。
四時	しじ(しじ)	春夏秋冬のこと。四季。
四科	しか	孔子が弟子に教えた徳行・言語・政事・文学の四つの学科。
四海	しかい	天下國家のこと。
四書	ししよ	儒家の重んじた四つの経典。大学・中庸・論語・孟子。
四端	したん	仁・義・礼・智の糸口となる四つの心。惻隱(同情する心)・羞惡(不善を憚む心)・辭讓(人に譲る心)・是非(判断する心)。

七賢	しちけん	竹林の七賢。阮籍・阮咸・山濤・王戎・嵇康・劉伶・向秀の七人。
七情	しちじやう	喜・怒・哀・懼(おそれ)・愛・惡・欲の七つの感情。
八大家	はちたいか	唐・宋時代の八人の優れた文章家。 ④郎官
八卦	はつげ (はつつか)	易の基本になる八種の卦。乾・兌・離・震・巽・坎・艮・坤。
九州	きゅうしゅう	天下。中国全土のこと。
九重	きゅうちやう	天子の宮殿。
十干	じつかん	干支。順序を表したり、「十二支」と組み合わせて曆などに用いる呼称。甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸。
十二支	じふにし	時刻・方角や曆などに使う呼称。子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥。

時に関する語

平明	へいめい	夜明け。(平はちょうどその時に当たる)
黄昏	くわうこん	たそがれ時。夕方。〔の意〕
三更	さんかう	夜中。子の時。午前零時前後。(一夜を五区分して、初更は午後八時前後、五更は午前四時前後)
夙夜	しゆくや	朝早くから夜遅くまで。
望	ぼう	十五夜。満月。④三五夜
既望	きぼう	陰曆の十六日。又はその夜。
期年	きねん	丸一年。(期は時のひとめぐり)
千載	せんざい	千年。長い年月。④千歳
須臾	しゆゆ	わずかの間。
百代	ひやくだい	非常に長い年月。永遠。
一日	いちじつ	ある日。
光陰	くわういん	年月。時間の流れ。月日。(光は太陽・星「陰」は月・夜の意)

人称・名前にする語

一人称		
我・吾	われ	私。(自称の代名詞)
余・予	よ・われ	
妾	せふ	女性のへり下った自称。
臣	しん	自己を謙遜して言う語。
寡人	くわじん	諸侯が自己を謙遜して言う語。
孤	こ	(徳の少ない人の意)
二人称		
女・汝	なんぢ	そなた。
而・若		おまえ。(二人称の代名詞)
爾		
卿	けい	あなた。天子が臣下を呼ぶ語。相手を尊んで呼ぶ語。高位高官の者。
公	こう	君主を諸公を呼ぶ語(三人称にも用いる)
子	し	あなた。男子の敬称。

年齢に関する語(数え年による)

孩提	がいてい	二・三歳の幼児。(孩は幼児の意、「提」は抱きかかえる意)
志学	しがく	十五歳。「吾十有五 <sup>ニ</sup> 而志 <sup>ス</sup> 於 <sup>テ</sup> 学 <sup>ニ</sup> 」(論語)
笄年	けいねん	女子の十五歳。(女子が髪を結い、 <sup>ニ</sup> 「かんざし」をさす年)(礼記)
弱冠	じやくくわん	男子の二十歳。(弱は二十歳、 <sup>ニ</sup> 冠は冠の意)(礼記)
而立	じりつ	三十歳。「三十 <sup>ニ</sup> 而立 <sup>ル</sup> 」(論語)
壮年	さうねん	三十歳。「三十 <sup>ニ</sup> 曰 <sup>ク</sup> 壯 <sup>ニ</sup> 」(礼記)
不惑	ふわく	四十歳。「四十 <sup>ニ</sup> 而不 <sup>レ</sup> 惑 <sup>ス</sup> 」(論語)
知命	ちめい	五十歳。「五十 <sup>ニ</sup> 而知 <sup>ル</sup> 天命 <sup>ヲ</sup> 」(論語)
耳順	じじゆん	六十歳。「六十 <sup>ニ</sup> 而耳 <sup>ヲ</sup> 順 <sup>ス</sup> 」(論語)
還曆	くわんれき	六十二歳。六十二年見て同じ干支に還る
古稀	こき	七十歳。「人生七十古来稀 <sup>ナリ</sup> 」(杜甫)④「従心」(論語)

その他

君子	くんし	立派な人物。高い地位の者。為政者。学問修養に志している人。
小人	せうじん	徳のない者。地位の低い者。
左右	さいう	側近。君主の側近くに仕える家来
名節		
姓	せい	同一の祖先から出た血筋を表す呼称。(同姓の者同士は結婚しない)
名	な	生まれた時につける本名。自称の時、親や師が呼ぶ時に用いる。
字	あざな	成人した男女に本名のほかにつける名。他人が呼ぶ時に用いる。
諱	いみな	死者の生前の本名。忌み名のこと
諡	おくりな	生前の功徳をたたえて贈る尊称。
排行	はいかう	一族で同世代の男の出生順の序列
伯・仲	はく・ちゆう	兄弟の順序。「伯」は長兄、「仲」は次兄、「叔」はその次、「季」は末弟
叔・季	しゆく・き	

歴史・政治・思想に関する語

天	てん	万物の主宰者。造化の神。上帝。
天子	てんし	天の命令を受けて、天に代わって天下を治める者。
王	わう	夏・殷・周の天子の称。戦国時代の諸侯の称。漢以後は上位の諸侯の称。
諸侯	しよこう	天子から領土をもらい、諸国を治める君主。
卿	けい	執政の大臣。高位高官の者。
大夫	たいふ	卿の下、士の上の官。諸侯の家老。
士	し	卿・大夫に次ぐ官。学徳ある者。
革命	かくめい	王朝が代わること。(天命を革める)
禅譲	ぜんじやう	天子が帝位を有徳者に譲ること。
放伐	はうぼつ	武力による革命。
世襲	せしゆく	天子が位を自分の子に譲ること。

生活に関する語

布衣	ふい	①庶民の着る麻布の衣服。②庶民。
簞	たん	竹で編んだ丸い飯びつ。
粟	ぞく	穀物。俸禄。
浮世	ふせい	はかないこの世。人生。
庶人	しよじん	庶民。一般民衆。〔百姓〕
賈	か	あたい。ねだん。〔価〕
名	こ	商人。〔買客・買人〕
名利	めいり	名声と利益。〔声聞(評判、名声)〕
規矩	きく	コンパスとさしがね。法則。規準。
糸竹	しちく	弦楽器と管楽器。
倉廩	さうりん	米ぐら。
家書	かしよ	家族からの手紙。家族への手紙。
折柳	せつりゅう	旅立ちを見送ること。送別の曲。
台	だい・うてな	見晴らしのきく所。物見台。
恒産	こうさん	一定の職業。

王道

王道	わうだう	仁義・徳徳で天下を治める政治。
霸道	はだう	武力で天下を治める政治。
科擧	くわきよ	清代まで行われた官吏登用試験。
進士	(しんし)	科擧のうち進士科に合格した者。
官	くわん	役人。上級の職にある役人。
吏	り	役人。下級役人。
左遷	させん	官位を下げられること。又、官位を下げて遠地に流すこと。〔左降〕
苛政	かせい	きびしくむごい政治。租税・法律・刑罰などがきびしく、人民を苦しめる政治の意。
海内	かいだい	国内。天下。〔四海〕
道	みち	人の守り行うべき正しい道。
徳	とく	修養によつて得た立派な人格。
中庸	ちゆうよう	中正で行き過ぎも不足もないこと。
人倫	じんりん	人として守り行うべき道。五倫(仁・義・礼・智・信)。

その他の常識語

人の死		
夭折	えうせつ	若死に。(夭)の訓は「わかし」
三年喪	さんねんのも	子が親の死後、三年間喪に服する礼の規定。
〈状態・心情〉		
区区	くく(タル)	わずかな。取るに足りない。
莞爾	くわんじやう	につこりとほほえんで。
從容	じゆうじやう	ゆつたりと落ち着いて。
蕭然	せうぜん(ひやう)	もの寂しく。
〈句〉		
城	じやう	「城」は町を囲む内側の壁。城壁
郭	くわく	をめぐらした町。「郭」は町の外囲
邑	いふ	い。「邑」は村の意。
〈字問〉		
新注	しんちゆう	宋以後の經書の注釈のこと。

34 和漢異義語

遠慮	選 エンリヨ	遠い将来のことまで見通した深い考え。
	和 えんりよ	控え目に振る舞うこと。
稽古	選 ケイコ	昔の事柄を考え調べる。学問。学習。
	和 けいこ	遊芸などを習うこと。
經濟	選 ケイザイ	世を治め人民を救う。「經世済民」の略。
	和 けいざい	生活に必要な財貨の生産、分配、消費。
傾国	選 ケイコク	絶世の美人。〔傾城〕
	和 けいこく	遊女。
故人	選 コジン	昔なじみ。旧友。〔故知・故旧〕
	和 こじん	死んだ人。

新月	選 シンゲツ	いま昇り始めたばかりの月。
	和 しんげつ	陰曆三・四日頃の細い月。三日月。
成敗	選 セイハイ	成功と失敗。成否。
	和 せいはい	処罰。裁判。
是非	選 セヒ	正しいことと正しくないこと。
	和 ぜひ	どうしても。必ず。
大丈夫	選 ダイヂヤウ	意志の強いりつばな男。
	和 だいぢやう	たしかだ。あぶなげがない。
大人	選 タイジン	徳のある人。年長者に対する敬称。
	和 おとな	成人。
多少	選 タセウ	①多いと少ない。②多い(「少」は助字)。
	和 たしやう	すこし。幾らか。〔③これほど。〕

時雨	選 シウ	ちようどよい時に降る雨。
	和 しぐれ	秋の末から冬の初めにさつと降る雨
宵	選 セウ	夜。
	和 よい	日が暮れてまもない頃。
丈夫	選 チヤウフ	一人前の男子。
	和 じやうぶ	健康なこと。堅固なこと。
新	選 あたらシ	新しい。はじめて。くしたばかり。
	和 あたらシ	新しい。
人間	選 ジンカン	人の世。俗世間。
	和 にんげん	人。人類。

馳走	選 チソウ	馬を走らせる。
	和 ちそう	客をもてなす。ごちそう。
百姓	選 ヒヤクセイ	庶民。多くの人民。
	和 ひやくしやう	農夫。
扶持	選 フヂ	助ける。抱きかかえる。
	和 ぶち	俸禄。扶持米。
庖丁	選 ハウテイ	昔の有名な料理人の名。料理人。
	和 ほうちやう	料理用の刃物。
迷惑	選 マイワク	道に迷う。心が迷う。
	和 めいわく	厄介で困ること。めんどう。
漸	選 ヤウヤク	しだいに。(「ゼン」は順序、次第の意)。
	和 ようやく	やつと。しだいに。